

第626回番組審議会報告

2018年3月6日開催

■出席委員

佐藤卓己委員長 佐藤友美子副委員長 今井美樹委員
太平信恵委員 津村記久子委員 中野健二郎委員
東野博昭委員 細見良行委員 丸山雅也委員

■毎日放送出席者

三村社長 梅本専務 木田常務 浜田取締役 宮田取締役
小林ラジオ局長 松本編成局長 磯澤報道局長
大牟田コンプライアンス室長兼番組審議会事務局長

◆審議事項

(1) 報告事項「訂正放送について」

元神戸市議による政務活動費の詐欺事件の裁判のニュースで、昨年12月26日から今年の2月19日までの4回にわたり放送で使用した、3人の元神戸市議のうちの1人の映像が別人のものと判明。これを受け2月19日の「ちちんぷいぷい」、全国ニュースの「Nスタ」、「VOICE」、それぞれの番組の中で訂正放送を行った。この件の経緯と対応について、コンプライアンス室長が報告した（この報告時のみ、報道局長も出席）。

(2) 平成29年度最終の審議会となるため、個別の番組の審議ではなく、「MBSの番組・放送全般」について意見交換した。

【各委員の主な意見は次の通り】

*「プレバト!!」の「俳句の才能査定ランキング」コーナーは指導役の夏井いつき先生と梅沢富美男さんの掛け合いがプロレスみたいで面白い。しかも夏井先生の俳句の指導は論理的で教養も身につく。

*「プレバト!!」は俳句のバックの映像も細部にまでこだわって本当に頑張っているなど感心するが、スーパーの多さがちょっと目について、肝心の映像をつぶしていないかというのが気になる。

- * 「ちちんぷいぷい」と「VOICE」に同じコメンテーターが出演しているのは、そのコメンテーターのオフの顔とオンの顔の両方が見られて何かうれしい感じがする。
- * 「林先生が驚く初耳学！」は話題が豊富な雑誌のような番組。この番組のアンミカさんがとても面白い。
- * テレビの深夜番組の中で特に評価したいのが「メッセンジャーの〇〇は大丈夫なのか？」。実生活に全く役に立たない雑学番組だが、「いろんなチェーン店の一番売れてないものは何か」など、その切り口に興味がそそられ、見ずにいられない。
- * 特番の「池上彰さんに聞く世界のハテナ？」は非常に画期的だ。「ちちんぷいぷい」でアナウンサーがいろんな国に行って取材した素材を上手に使い別番組に仕立て上げている。決して「ベスト・オブ・ちちんぷいぷい」にはならず、池上さんを起用することで味わいが一気に変わる。それが大阪っぽい“ずるうま”だと感心する。
- * 「住人十色」は、番組のタイトルも素敵ないい番組だ。型にはまったマイホームではなく、いろんな生活の仕方、暮らし方があるというイメージがわくので、若い世代はもちろん、親の世代でも頭がシャッフルできていいと思う。
- * 「次は～新福島！」ほか福島暢啓アナウンサーのラジオ番組がいい。とにかく福島アナはリスナーから話を聞き出すのが上手で、なおかつ、リスナーを絶対、置いてきぼりにしない。なかなかできることではないと思う。
- * 「戦え！スポーツ内閣」はどんどん成長している。特に元プロ野球選手の落合博満さんと武豊騎手を特集した回は、内容が深く引き込まれた。あそこまでいくと、バラエティを越えている。落合さんからあれだけの話を引き出したのはすごい。全国ネットにしてもいいのでは？
- * 「教えてもらおう前と後」は楽しい番組だが、取り上げている内容はよくあるもので、大したことはない。タイトルどおり見せ方で勝負している

番組だと思う。

- * 「ごぶごぶ」は好き嫌いが分かれる番組だと思うが、この前の笑福亭笑瓶さんがゲストの回は、笑瓶さん自身が大病を経験されたこともあり、「何をしても楽しい」等、しみじみしたコメントに私はじわっときて、その回はよかったなと思う。
- * 月1回のドキュメンタリー「映像'18」など硬派な番組は非常に優れたものが多いと思うが、深夜の放送しかないのは非常に残念。
- * 最近の「痛快！明石家電視台」は昔の視聴者参加の要素がなくなり、さんまさんのノリとは違うという気もするが、特定の業界の話などが聞けて面白く、安定して見られる。

以上